

2 事業の概要と成果	
(1) プロジェクト目標の達成度 (今期事業達成目標)	「地方政府において市民参加のもと『模擬レビュー』を実施することで『行政事業レビュー』が有効に機能するための仕組みを構築する」ことを目標として設定。 結果として、ジョグジャカルタ州バントウル県に属する、「グウオサリ村」および「スリハルジョ村」の2つの基礎自治体において、2022年5月に模擬での行政事業レビューを実施することができた。
(2) 活動内容	1 地方政府において市民参加のもと「模擬レビュー」を実施 1-1 「模擬レビュー」を実施する地方政府の選定 ・「模擬レビュー」の実施に向けたMOU等の取り交わし（最大目標2村） →提携パートナーのTifa財団とともに、さらに現地に詳しいローカルパートナーであるNGO団体「Alterasi」と協力しながら、複数の村に対して打診 →結果として、ジョグジャカルタ州バントウル県にある基礎自治体2つの村、「グウオサリ村」および「スリハルジョ村」を早期に選定することができ、模擬レビュー実施のMOUを締結できた。 ・キックオフとしてOGI、および、Tifa+ローカルパートナー（現地の協力NGO団体等を想定）の表敬訪問（1回） →2021年8月にローカルパートナー選定を行い、Altearsiを選定。Tifa×Alterasi×構想日本で、2日間にわたってオンラインMTGを実施。プロジェクトキックオフとして、チームビルディング、詳細情報共有を行う。 1-2 模擬レビュー実施に向けた準備（TifaおよびAlterasiがリード） <職員向け研修> 【1回目】2村合同キックオフMTG@オンライン（2021年9月） -参加者：村長、村職員、村の関係者、バントウル県職員（40名程度） -内容：事業レビューの概要説明、展望、今後のスケジュール 【2回目】各村においてより詳細な説明会（2021年11月） -参加者：職員、BPDメンバー、村関係者、構想日本スタッフ（各村20-30名程度） -内容：日本の具体的な事業紹介、実施内容紹介、住民参加の必要性、体験談、事務局の説明と選定、スタッフ石渡のレクチャー 【3回目】2村合同会議（2022年1月） -参加者：村長、職員（事務局スタッフ）、構想日本スタッフ（合計30名程度） -内容：事業シートの作り方研修、模擬シートづくり、インドネシア ver 事業シート案の考案ディスカッション

<市民向け説明会>

【1回目】各村における市民向け説明会（2021年11月）

- 参加者：募集かけた市民、声がけした市民（各村30名程度）
- 内容：事業レビュー説明、市民判定人とは？、ゲストスピーカー体験談（構想日本招聘の経験者の川尻氏 茨城県行方市市民）

【2回目】各村における市民向け説明会（2021年11月）

- 参加者：募集かけた市民、声がけした市民、構想日本スタッフ（各村30名程度）
- 内容：予算編成の仕組みについて（教授、村落省職員ゲストスピーカー招聘）、市民参加の意義、事業レビューの重要性

<市民判定人研修>各村実施（2022年5月）

- 参加者：選抜された市民判定人（各村30名）
- 内容：事業レビュー説明、市民判定人とは、評価シートの書き方、質疑応答

<評価人研修> @オンライン（2022年3月、4月欠席者振替）

- 参加者：評価人候補者4名（Bappenas職員、大学教授他）、構想日本スタッフ
- 内容：事業レビューとは何か、評価人研修心得

<事務局運営補助>

- ・各村では2022年2月以降、模擬レビューに向けて隔週で事務局による話し合いが行われ、Alterasiスタッフ、および、適宜Tifaのスタッフが補助として入って執り行われた。レビュー対象事業の選定、市民判定人選定方法の検討、当日運営の仕方等具体的に進められるよう会議を行った。
- ・構想日本（専門家派遣）の北田は、2022年3月30-31日とそれぞれの現地の各村に往訪し、事業シートの書き方の指南など模擬レビューに向けた具体的な助言と質疑応答を行った。

1-3 模擬レビューの実施

下記概要で、各村模擬レビューが行われた

- ・グウオサリ村@村会議室 2022年5月20日（金）19:30 - 22:00
- ・スリハルジョ村 @村会議室 2022年5月21日（土）19:30 - 22:00

※日本からは、専門家の北田が司会者として、また現地訪問として加藤、伊藤、尾中、田中が参加し実際の模擬レビュー準備～当日までをサポートした。

※当日の詳細情報は別紙参照

【本邦研修の実施について】

なお、当初「本邦研修」を実施予定であり、関係各所と調整、受け入れ準備を進めていたが、コロナ禍により渡航困難として中止となった。

2 他地方政府でも実施できる体制の構築

2-1 模擬レビュー実施までのプロセスをドキュメンタリー動画の作成とその配布

→かなり綿密にドキュメンタリー動画を作成し SNS やメールマガジンで配

	布。DVD は今回はコストの関係上作成しなかったが、かなり質の高いわかりやすい啓蒙動画の作成ができた。これは同時にマニュアルにもなり得る動画となった。 製作したドキュメンタリー動画 https://www.youtube.com/watch?v=c3DC9HhSi1Y&ab_channel=TifaFoundation グウオサリ村の様子 https://www.youtube.com/watch?v=xtcIzo3XdY4&ab_channel=TifaFoundation スリハルジョ村の様子 https://www.youtube.com/watch?v=zHxFgcaLw0&ab_channel=TifaFoundation
(3) 達成された成果	成果(1) 実証実験の地方政府選定と模擬レビューの実施に対する評価 1-1 選定された地方政府ないし国政の「事業」に対する行政事業レビューの有効性についての評価 →90%以上の参加者/関係者が今後も対象事業に関して、経過措置の確認を希望（別紙参照）。一定の評価があった。 1-2 「模擬レビュー」の有効性についての評価 →90%以上の参加者/関係者が、行政事業レビューを今後も続ける必要があると回答（別紙参照）。一定の評価があった。 成果(2) 構築した仕組みの認知度が向上する 2-1 本取り組みについて、国全体への波及度 （全国メディアへの掲載…【目標】1社以上の掲載） →Tempo 紙に掲載されて、数多くのウェブメディアで掲載を確認した（別紙参照） 2-2 制作した DVD の配布 →今回は youtube での掲載となり、それを Tifa のウェブサイト、SNS、メールマガジンで多く配布した 成果(3) 一連のプロセスによって、「行政事業レビュー」の研修やさらなる試行および本格実施に向けた動きをする、地方政府や政府関係者、団体が出てくることも目標とする。 →次年度に向けて、バントゥール県が本格的に実施を検討するという話が持ち上がっている他、スラバヤ市、パリアマン市、タマアングン県、くわえてバリなどでも実施の検討をするという話をもらっている。

(4) 持続発展性	「グウオサリ村」および「スリハルジョ村」においては、今後、条例等、何らかの形で行政事業レビューを仕組として導入することを検討する方向で動いている。加えて、その上の「バントゥール県」でも実際に県の職員が実地確認、ヒアリングに来ており、ジョグジャカルタ州での波及に一定の期待が持てる。
------------------	---